

製品プラスチックリサイクル実証事業について

1 目的・背景


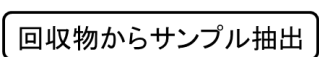
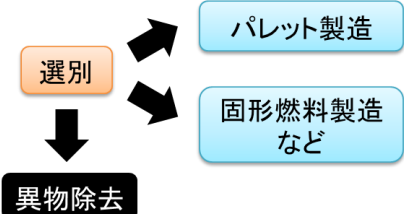
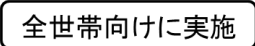
- ・現行のプラスチックリサイクル制度は、対象がお菓子の袋やペットボトルのラベル等の容器包装に限られ、ハンガーや歯ブラシ等の製品プラスチックは対象外で、市民にとって分かりにくいものとなっている(裏面参照)。なお、本市の家庭ごみでは、容器包装が約10%混入し、製品プラスチックが約5%の割合を占めている。
- ・本市では、令和元年度から国に対して、分かりやすい分別回収・リサイクルを促進する仕組みの早期構築について要望を行ってきた。
- ・現在、国においては、プラスチック資源循環を促進する観点から、家庭ごみ等で焼却処理されている製品プラスチックを、プラスチック製容器包装と一括回収・リサイクルする制度の検討が進められている。
- ・今後、制度化された場合に効率的な運用ができるよう、国の動きに先行し、本市独自にプラスチックの一括回収・リサイクルの実証事業を実施する。なお、素材分析など実証事業全体について、東北大学大学院環境科学研究科の協力をいただく予定としている。

2 実施内容

(1) 期 間 令和2年11月(1カ月間)

(2) 地 区 青葉区錦ヶ丘地区(約2,800世帯、約8,700人)

(3) フロー

①一括回収		<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製容器包装指定袋へ一緒に入れて、収集日(水曜日)に回収 ・プラスチック100%の製品で、一番長い部分がおおむね30cm以内のもの ・収集量の変化(事業実施前との比較)
②組成調査		<ul style="list-style-type: none"> ・回収した製品プラスチックの品目やその割合 ・素材分析 等
③リサイクル		<p>技術的課題の洗い出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な選別 ・リサイクルした商品の品質 等
④アンケート		<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の属性 ・分別のしやすさ ・チラシ等の案内の分かりやすさ ・意見・要望 等

(4) 周知・広報





- ・ 9月中旬 錦ヶ丘地区の町内会長等への説明
- ・ 10月上旬 全世帯へのチラシ配布による周知
- ・ 11月中 ごみ集積所へのポスター掲示


3 進め方

- ・ 令和2年11月 一括回収・組成調査・リサイクル
- ・ 12月 アンケート調査実施・回収
- ・ 令和3年 1月 組成調査結果、リサイクル工程における技術的課題の洗い出し及び
～3月 アンケート調査結果等を踏まえ、効率的な運用について検証











<参考>

プラスチック製容器包装の例




				
お菓子の袋	ペットボトルのラベル	卵のパック	食品のトレイ	シャンプーのボトル

※主に  マークがあるもの

製品プラスチックの例

				
ハンガー	歯ブラシ	密閉容器	フリーザーバッグ	バケツ
				
クリアファイル	定規	ブロック	ジョウロ	水鉄砲

対象外となるものの例

				
モバイルバッテリー	電動歯ブラシ	電子・加熱式たばこ	ドライヤー	ライター

※リサイクルの過程で発火の危険がある小型家電などの通電して使用する製品